

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-1-3		事業名	企業・団体と連携した子育て支援事業
担当	子ども未来局子育て支援部子育て支援課 原田 Tel. 211-2988			
全体計画				
事業内容	企業・子育て団体・専門家などとの協力・連携により、動物園などでの子育て支援イベント、企業団体からの絵本寄贈制度、食と子育ての視点を合わせたシンポジウム(討論会)などの子育て支援事業を実施		＜年度別の事業内容＞	
			(19年度) 動物園での子育て支援イベント。食と子育て推進事業として講演会などを実施 (20年度) 動物園での子育てイベントの継続。企業団体からの絵本寄贈制度整備 (21年度) 企業団体からの絵本寄贈制度 (22年度) 同上	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・「kids・zoo」(キッズ・ズー) 子育て支援団体が主催し、子育て中の親子が円山動物園に集い、子どもたちが父親らと様々なイベントに参加している間、母親にリフレッシュしてもらう事業で、本市は主としてPR等の支援を行った。年4回実施 ・さっぽろ食と子育て推進事業 料理・食育・子育て支援等の各分野の専門家で構成される会議(さっぽろ食と子育て戦略会議)を設置し、実行委員会方式などで講演会、料理教室などのイベントを開催(11回実施)。実行委員会のメンバーとして本市が参加。		・絵本基金「子ども未来文庫」創設 子育て支援に協賛する企業・団体や市民に対し、絵本を購入して寄贈してもらい、子育て支援総合センター、保育所等で行われる絵本の読み聞かせに活用してもらう絵本基金「子ども未来文庫」を創設(9月)。平成20年度の寄贈絵本数は1,099冊。 ・「子育てサロンin円山ZOO」(平成19年度は「kids・zoo」(キッズ・ズー)の名称) 月に一度、民間団体が円山動物園で行う子育て支援イベントに対し、札幌市は広報部分で支援した。平成20年度のイベント実施回数8回。	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	・絵本基金「子ども未来文庫」 子育て支援に協賛する企業・団体や市民に対し、絵本を購入して寄贈してもらい、子育て支援総合センター、保育所等で行われる絵本の読み聞かせに活用してもらう。平成21年度の寄贈絵本数は316冊。 ・「子育てサロンin円山ZOO」 月に一度、民間団体が円山動物園で行う子育て支援イベントに対し、札幌市は広報部分で支援した。平成21年度のイベント実施回数12回。		・絵本基金「子ども未来文庫」 事業の趣旨に賛同する企業・団体等を募るため、広報媒体等でPRを進めるとともに、寄贈された絵本を保育園や子育て支援の場での読み聞かせなどに活用した。平成22年度の寄贈絵本数は223冊。 ・「子育てサロンin円山ZOO」 月に一度、民間団体が円山動物園で行う子育て支援イベントに対し、札幌市は広報部分で支援した。平成22年度のイベント実施回数12回。	
量				
場				
所				
規模				
件数				
等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-1-3			事業名	企業・団体と連携した子育て支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
企業との連携事業実施回数	－	年15回	年8回	年12回	年12回	年5回	
絵本寄贈数(累計)	－	－	1,099冊	1,415冊	1,638冊	1,000冊	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 企業・団体や市民が絵本を寄贈することで子育て支援の環境づくりに参加しており、また、動物園においても、企業・団体と札幌市が協働で子育て支援事業に取り組んでいる。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 実質的な主体となる企業、団体等の資金力が最大限活用され、最低限の事業費の投入で円滑な事業展開ができる。 [人材協力] 実質的な主体となる企業、団体等の労力が最大限活用され、子育て支援を展開できる。 [情報協力] 民間の持つ情報発信ルートを活用することで子育て支援の情報の広がり期待される。 [その他の協力] 活動の場の広がりなど民間の自由な発想や事業展開が可能となる。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 休日に行われる動物園のイベントなど、市民が参加しやすい工夫がされている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>企業や団体、市民の協賛により絵本の寄贈を受けることで、子育てに対する市民意識が高まるとともに、寄贈された絵本が子育て支援施設に配架されることにより、子どもが絵本とふれあう機会が増え、想像力豊かな子どもを育てることにつながっている。また、民間団体と事業展開することによって、最小の経費でより大きな成果をあげることに寄与している。</p>			<p>最小の経費で最大の効果をあげるという観点からも、企業・団体との連携強化に取り組むことは大きな意義があり、今後はより多様化する市民ニーズに対応するためにも、企業の社会貢献メニューの開拓を検討する必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>絵本の寄贈やイベント開催によって得られた子育て支援に対する市民意識の高まりを、もれなく市政へ反映することができるよう、子育て支援に貢献したい企業・団体や市民の受け皿的な役割を担い、限られた財源の中で効果的に子育て支援事業を進めるには、市民ボランティアを含めて社会全体が協働で取り組むことができる新たな事業の展開を検討する。</p> <p>「子育てサロンin円山ZOO」は、民間団体が実施する子育てサロンとしては平成22年度をもって終了するが、平成23年度より地域のボランティアが運営主体となり動物園内での子育てサロンを実施する予定。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-1-3			事業名	企業・団体と連携した子育て支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	0	8,585	8,444	0	9,029				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	8,000	8,000	0	8,000				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	0	67	8,120	0	8,187				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	6,100	0	6,100				
	市の債	0	0	0	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度] さっぽろ食と子育て推進事業は一定の成果があげられたこと、及び札幌市の食育推進計画がスタートしたことにより、年度末で終了										
[20年度] チラシ作製などを当初予算に計上。また、国の緊急経済対策における補正予算により、子育て支援施設に対する絵本蔵書充実のための予算(800万円全額特定財源)を計上し、執行は平成21年度に繰り越した。										
[21年度] ※予算の計には、20年度から21年度への繰越分(8,000千円)を含まない。										
[22年度] ゼロ査定となったため、既往予算で対応した。										